

**新嵐山スカイパーク自分ごと化会議
からの提案書**

新嵐山スカイパーク自分ごと化会議

令和5年3月31日

< 目 次 >

はじめに.....	- 1 -
1. 新嵐山スカイパーク自分ごと化会議の概要.....	- 2 -
2. 新嵐山スカイパーク活用計画に対する提案書.....	- 5 -
3. 付録：アンケート結果.....	- 16 -
第1回新嵐山スカイパーク自分ごと化会議参加者アンケート結果.....	- 16 -
第2回新嵐山スカイパーク自分ごと化会議参加者アンケート結果.....	- 20 -
第3回新嵐山スカイパーク自分ごと化会議参加者アンケート結果.....	- 23 -
第4回新嵐山スカイパーク自分ごと化会議参加者アンケート結果.....	- 26 -

はじめに

無作為に選ばれた私たち委員は、2022年12月から4回にわたって、新嵐山スカイパークの将来のあり方について議論を重ね、最終的には5つの提案にまとめられました。

これまでの議論から見てきたのは、私たち芽室町民の地元への愛着です。新嵐山スカイパークの運営に関わる人たち、利用する町民、十勝管内をはじめとする町外の人たちの誰にとっても、この名所に愛着を持って関わってほしい、そして、「町民の愛せない場所は外からも愛されない」と委員の誰もが感じるようになりました。

その地元への愛着をベースとして様々なアイデアが出されました。その結果、「一流のB級リゾート施設を目指す」という新しいコンセプトが創出されつつあります。これは、この会議の大きな成果ではないかと感じます。周辺の観光地と競り合うのではなく、新嵐山スカイパークが本来持っている強みや魅力を最大限に生かしながら情報を発信していくことでファンを増やし、これからも存続していけるよう運営を維持、強化していただくことを望みます。

また、長く芽室に住む私たちが当たり前に見ている景色や施設が、外の人にとっては魅力に感じる人が多いことに気づきました。いかに外部の視点を取り入れていくかは、今後の芽室町を考えるうえで非常に重要だと思えます。

町長には、5つの提案やその背景にある委員の思いを、活用計画の見直しにできる限り反映していただきたいと思っています。

最後に、参加した委員の多くは、新嵐山の利用頻度が高くなったり、社会的なニュースに目を向けるようになったりなど、これまで以上に「自分ごと化」されています。しかし、今回参加した住民はごく一部です。この変化を芽室町全体に広げていくため、今回の会議のような、多様な町民と行政、そして外の視点を組み合わせた対話の場を、一過性のもので終わらせないでいただきたい。私たちも、新嵐山スカイパークに対して今後も積極的に関わりを持ち続け、様々な部分で貢献していきたいと考えています。

令和5年3月31日

新嵐山スカイパーク自分ごと化会議委員一同

1. 新嵐山スカイパーク自分ごと化会議の概要

会議の概要

2022年12月から、“新嵐山活用計画の見直し”をテーマに、無作為に選ばれた住民による議論を行いました。

○ 委員

無作為に抽出し協議会委員の案内を送付した数	2000件
応募した委員（応募率）	46名（2.3%）
会議に参加した委員（参加）	36名（1.8%）

○ 委員一覧(敬称略)

No	班	氏名	No	班	氏名
1	A	小関 一夫	19	B	横井 康佑
2	B	波多野 伸一	20	A	大友 詠吉
3	B	山路 康	21	B	黒瀬 航
4	A	長谷川 修	22	A	新宮 洋介
5	B	杉本 光広	23	A	廣山 拓也
6	A	尾藤 光一	24	B	山田 和哉
7	B	阿部 立	25	A	佐藤 浩史
8	A	宮田 克宣	26	B	菊地 圭樹
9	B	小川 英明	27	A	川本 周平
10	A	川合 拓男	28	B	佐藤 道子
11	B	谷口 尚広	29	A	山田 美樹
12	A	嶋野 丈治	30	B	小村 由紀子
13	B	高橋 敬典	31	A	梶澤 美佐江
14	A	服部 直記	32	B	小林 由紀子
15	B	横山 泰平	33	A	森田 あゆみ
16	A	川上 徹	34	B	増田 由子
17	B	中原 拓也	35	A	五十嵐 修子
18	A	石倉 究	36	A	田中 このみ

○ テーマ及び各回の議論

テーマ：「新嵐山スカイパーク活用計画について」

各回の議論

- ・第1回会議：2022年12月18日（日）
住民協議会の概要説明（構想日本）
テーマに関する説明（魅力創造課）
委員の自己紹介など
 - ・第2回会議：2023年1月9日（月・祝）
テーマについてグループに分かれて協議
「改善提案シート」の記入 など
 - ・第3回会議：2023年2月5日（日）
ナビゲーターの参加
テーマについてグループに分かれて協議
「改善提案シートの中間とりまとめ」について全体で協議
「改善提案シート」の記入 など
 - ・第4回会議：2023年3月4日（土）
「提案書(案)」について全体で議論
「意見提出シート」の記入 など
- ※各回の議事録は芽室町 HP 上に掲載されております。



○ 会議風景



2. 新嵐山スカイパーク活用計画に対する提案書

以下の5つの提案は、令和4年度新嵐山スカイパーク自分ごと化会議の第2回会議、第3回会議で委員が記載した「改善提案シート」、第4回会議で委員が記載した「意見提出シート」および各回の協議内容を踏まえて取りまとめました。

改善提案の項目

提案

1. 新嵐山スカイパークのコンセプトやそれぞれの機能ごとのターゲットを明確にすることで、誰もが楽しめる場所を目指す。さらに、住民が当事者として関わる仕掛けをつくる。

提案

2. 利用目的の多様化を進めることで、町内・町外ともに利用者を増やす。

提案

3. 新嵐山を中心とした芽室町の魅力を再発見し、新嵐山の資源や良さをさらに活かす。

提案

4. 高付加価値化などそれぞれの機能の見直しをさらに進め（特に宿舎機能）、スカイパークをさらに稼げる事業として事業の継続性を高める。

提案

5. 新嵐山の変化(リニューアル)についての前向きな情報発信を行ったり、住民と行政が定期的に話し合う場を設けるなど、新嵐山の存在の伝え方を工夫し、情報発信を強化する。

- 新嵐山スカイパークのコンセプトやそれぞれの機能ごとのターゲットを明確にすることで、誰もが楽しめる場所を目指す。さらに、住民が当事者として関わる仕掛けをつくる。

新嵐山スカイパークの理念（コンセプト）が不明確との議論が多く出た。この会議で結論が出たわけではないが、「一流のB級リゾート施設」「町民に愛され外の人が魅力に感じる施設」など多くのアイデアが出た。また、例えばスキーは初心者向けにするなど、機能ごとにターゲットを設定することで、新嵐山スカイパークには、町民も町外の人、世代も幅広く楽しむことができるのではないかと。さらに、いかに住民が当事者として関わってもらえるかは、成功のカギとなるので、その仕掛けも考えていく。

「提案1」の実現に向けて、それぞれが行うこと

私たち 町民

- ① 周りの人の意見も聞きながら、自分なりに一番のターゲットについて考える。
- ② コンセプトは時とともに変遷し、異なる事業を断続的に行う必要があるため、個人として新嵐山のコンセプトを定期的に考え直す必要がある。
- ③ 新嵐山の強みはB級であるところ。気軽に楽しみ場として町内会で話題にする。
- ④ 「B級」とは具体的にどの程度の品質かを言語化する。「求めているレベル」を明確化し、過剰な品質・サービスやコンセプトとずれた高級志向に異を唱えられるように考え、提案する。

地域

- ① 地域の中で話し合いをする。
- ② コンセプトが明確になったら、そのコンセプトに企業や飲食店は乗っかってタイアップする。

行政

- ① 機能ごとのコンセプトやターゲットを明確にしてからさらなる改善を行う(特に宿泊施設のコンセプトが不明確なので、全体のコンセプトに合わせていく)。
- ② 地域や住民から定期的にコンセプトを聞く。
- ③ 多くの来客があるキャンプ・グランピング・スキーは稼げるのでターゲットを設定し、それ以外は、100人が100通りの使い方ができるようなコンセプトを考える。
- ④ 例えば「日本一寒いスキー場×サウナ」のような、今ある要素を掛け合わせたコンセプトを検討する。

- ⑤ 新嵐山はB級グルメのような立ち位置を目指す（本格的にスキーをするなら富良野やサホロ、お風呂なら十勝川温泉がある。B級にはB級なりに狙う層があると思う）。
- ⑥ 新嵐山独自でできること、新嵐山の強みを活かしたものを選択して税金を投入する（いくら観光に力を入れても、近隣の大型リゾート施設には勝てない。勝ち目があるなら税金投入しても良いと思うが、その点を疑問に感じている人もいると思う。）
- ⑦ どこまで観光に力を入れるのか、ある程度の見通しを決める。

《その他の意見》

- ① 新嵐山は町民主体の場所、施設であるべき。（外向きの観光には向かない）
- ② 学校や保育所が利用しやすい環境を作ることが、将来を見据えた持続可能な町民利用につながるのでは。
- ③ 3世代や犬も楽しめる「敷居の低さ」や「最も晴天の多いスキー場」などを売りにできないか。
- ④ 税金投入のターゲットは子どもと高齢者ではないか。その他の世代への税金投入になるレジャー、スキー場の維持には反対。
- ⑤ 住民や飲食店が運営側に回るのはいいが、具体的に何をやるかを考える必要がある。芽室公園のフェスや氷灯夜などのイベントと比較すると、関わるには物理的に距離が遠く感じる。
- ⑥ そもそも新嵐山ってどんな山？ という基本的なプロフィールの整理があってもよいのでは（標高など地形的特徴、植生などの自然環境。開発の歴史や伝承、農村地区で果たしてきた役割、もちろん名前の由来や名付けの経緯など）。
- ⑦ 利用者のターゲットは絞らず、広い年齢層がそれぞれの楽しみ方で新嵐山のファンになっていただくことが、これからの理想とする姿だと思う。それだけ、新嵐山には楽しみ方がたくさんある。

2. 利用目的の多様化を進めることで、町内・町外ともに利用者を増やす。

これまでの中心的な利用目的だった「観光」と「地域レクリエーション」に留まらず、さらなる多様化を進めることが重要である。子どもが楽しめるアクティビティを増やすほか、仕事やワーケーション、学校行事や部活などの活用が考えられる。それらによって、町民も町外の人も、誰もがスカイパークに魅力と利用するための必然性を感じられる環境をつくる。

「提案2」の実現に向けて、それぞれが行うこと

私たち
町民

- ① 出張やお客様に案内できる宿泊所として紹介する。
- ② 子どものための絵本やマンガ本等の寄付（品質やコストの問題が考えられる場合はAmazonの「みんなで応援プログラム」など）。
- ③ 子どもが楽しめるよう、新たなアクティビティや支援策を考える。
- ④ 子連れに配慮したマナーなどを発信する。
- ⑤ 公共交通が不十分なため、ボランティアとして観光客の送迎などを行う。

地域

- ① 住民への利用を推進する。
- ② 高齢者団体や産業団体等、町内の団体で利用する。
- ③ グリーンシーズンに学生が集える場所づくり（遠征時の宿泊場所として）。
- ④ 子どもが楽しめるよう地域としてサポートを考える。

行政

- ① 宿泊施設に関して、人間工学的な観点からの快適性を提供できる施設にして、ワーケーション等観光+α視点でのアプローチで利用客を増やす。
- ② 宿泊施設(部屋+お風呂)のデイユース利用の開放と宣伝をする。
- ③ テレワークや勉強などで利用できるよう、フリーWi-Fiを整備する。
- ④ 近年道外からの遠征も多いことから、部活での活用について学校関係へのPRをする（レジャーを絡めた合宿も考えられる）。
- ⑤ 芽室町の子どもたちが新嵐山に愛着を持っていけるようバス学習などを検討する。
- ⑥ 市街地の学校では、雪を楽しむ、雪に触れるような学校行事がないので、授業で子どもが冬の新嵐山でアクティビティを楽しむ機会を作ったり、学割などを検討する。
- ⑦ 冬に遊べる子ども遊具設置（水遊び場の整備など）の検討。

- ⑧ 試験的な期間を設定する。新規の体験授業(屋外炊飯／キャンプ研修)や町民・企業向けへのPR(新嵐山のリソース、芽室の普遍的な魅力発掘)。
- ⑨ 足の確保策の検討(サービス券発行、バスの増便、利用者のタクシー助成など)。
- ⑩ お年寄りや障がいのある方などのための手すり等の設置やバリアフリー化を行う。
- ⑪ 利用促進のため、浴場の利用券の発行を検討。
- ⑫ 町民を巻き込んで楽しみながら新嵐山を清掃できる行事など、町民が年に一度は参加できるようなイベントや学校行事を考える。
- ⑬ 自然を活用しながら、サバイバル力を高めるキャンプ研修など、災害対応の体験授業を実施する。

«その他の意見»

- ① 人口が減り、価値観も多様化しているので昔のような人数を確保することは難しいのでは？
- ② 町民の思いを的確にとらえ、町民の思いに沿う形を追求する必要があるのではないか。
- ③ 屋外の施設は様々なリスクを伴うので、リスクマネジメントがかなり高度になる。ボランティアを安易に受け入れるよりも、新嵐山に家族で来られているのであれば、預かりではなく家族で楽しむという趣向が良いと思う。

3. 新嵐山を中心とした芽室町の魅力を再発見し、新嵐山の資源や良さをさらに活かす。

新嵐山スカイパークの町外利用者の満足度はとても高いことがアンケート結果などからわかっている。町民の愛せない場所は外からも愛されないなので、外の人にとっての価値を町民が気付くことが重要である。スキー場や展望台、ドッグラン、グランピングなど新嵐山スカイパークに今ある様々な資源をこれまで以上に活用し、その良さを追求していく。

「提案3」の実現に向けて、それぞれが行うこと

私たち 町民

- ① 新嵐山に遊具ができたことを知らない人が多いので周知していく。
- ② 他の市町村の地元の盛り上げ方の例を調べる。
- ③ “知られざる名所”をどう洗い出すかの仕組みを考える。
- ④ まずは積極的に行って、自らが活用する。
- ⑤ 観光と町民をつなげるアイデアを出す。
- ⑥ 季節ごとに散策路・登山道を歩いて、どこに何があったらいいか提案する。(看板設置/植樹の提案など。アクティビティの追加も検討。)

地域

- ① シニアの公園管理の方々に依頼をして花植えをしてみる。
- ② 地域のイベント開催、参加。
- ③ 「道の駅おとふけ なつぞらのふる里の事例を参考に、十勝を舞台にした作品（NHK 朝ドラなど）とのタイアップを考える」

行政

- ① コロポックル伝説の可視化を検討する。
- ② 今の観光政策が他市町村とあまり変わらないので、再度見直しを行う。
- ③ 夏のスキーゲレンデの活用について、放牧エリアの一部を開放しアクティビティの実施や、リフトの運行を検討する（現在は放牧のため立入禁止）。
- ④ スキーのみならず、年に一度は色々な世代の人が集まれるような新嵐山の資源を最大限に活用できるイベント（祭りなど）の検討。
- ⑤ 展望台の活用策の検討（360度見渡すことができ、放牧した牛を見ることもできる景色の良さをもっと活かす。展望カフェの復活の検討。）
- ⑥ 展望台までの登山道の整備を行う。（登山道が荒れている。また、登山者・自動車・畑に

行く作業者が共通で使っている。機械の導線を踏まえて整備することが必要。)

- ⑦ ドッグランだけではなく、自然全体で一緒に楽しめるような仕掛けをする。(フットパス、トレイルランニング、小川の活用等)

«その他の意見»

- ① 孫たちが小川を大変気に入って夜遅くまで遊んでいた。もっと活用できるのでは。
- ② シマフクロウなど希少種の生物が生息していると思われる。(養老温泉のように売りにしているところもある)。
- ③ 夜のクワガタ取りも多いと思うので、新嵐山の自然を生かした昆虫館の設置はできないか。
- ④ 電化が進み火を見たことのない小学生が増えていると聞くと、新嵐山はキャンプで火をメインに扱うので、「たき火」をアピールポイントにできないか。
- ⑤ 周辺地域の公園化が必要ではないか。
- ⑥ ワイナリーも近くにあるので展望台でワインも飲めたら最高。
- ⑦ 何年前にあった透明なボールの中に子どもが入って遊べるアクティビティ (アクアボール・ウォーターボール) を復活してほしい。
- ⑧ 夏のキャンプ。汗をかくのでぬるめのお風呂に入りたい。自然を感じられる露天風呂がいい。
- ⑨ 町外から来た人にみてもらおうと格好悪いので展望台の周辺 (柵や道路など) も整備してほしい。

4. 高付加価値化などそれぞれの機能の見直しをさらに進め（特に宿舎機能）、スカイパークをさらに稼げる事業として事業の継続性を高める。

スキー場をはじめとしたスカイパークへの町民の愛着は強いという意見が多く出た。一方で、新型コロナウイルスの影響もあり、現在のスカイパークの経営状況は良いとは言えない。特に宿舎の収支は非常に悪い状況になっている。今のままの継続は不可能という意見が大半だったことを踏まえ、施設のリニューアルや多目的化など、早急に改善策を決める必要がある。他の機能についても、経営状況の分析をさらに精緻に行いながら常に見直しを進めることで、新嵐山スカイパークが将来にわたって持続可能な施設にしていく。

「提案4」の実現に向けて、それぞれが行うこと

私たち

① 自ら新嵐山へ行き、レストラン等利用し、美味しさ・長所を知る。

町民

② 個人で利用して、改善すべき点を行政に伝える。

③ ドッグランについて、犬のアクティビティの提案、仲間と利用・個人として利用する。

地域

① 自治会として利用する。年一回（以上）の新嵐山の施設利用を推奨する。

② 町で出る廃材を利用してのリサイクルなど、町民を巻き込んだ施設建設を検討する。

行政

① 目標利用人数を設定する(損益分岐点)。

② 町民の力で経営状況をよくするためのストーリーを提示する。

③ 人口減少や政治経済の観点から利用料の見直しをする。

④ 宿舎と公園・キャンプ場の営業利益を増やす。部屋ごとの金額変更。

⑤ カフェの設置（視界が良いなら子どもにも目が届く）。

⑥ 小学生によるレストランメニュー開発や農家レストランを検討する。

⑦ 例えば犬との宿泊やサイクリングなどできそうなことからまずやってみる。

⑧ 町外を対象とし、特別な体験を売りに高単価で行う。またニーズの調査を行う。

⑨ 宿泊施設のリニューアルを行う（老朽化施設の改修）。

⑩ ゲレンデで牛を夏に放牧しているイメージを活用して乳製品×野菜のブランド化を検討する。

⑪ 愛菜屋はもとより、地元の企業(明治乳業)と提携して収益性を考える。

⑫ 人気のドッグランの有料化のほか、ペット宿泊可能な宿舎の設置や犬用食事メニュー、

犬と一緒にカフェ、トレーナー在駐の日の設置などを検討する（ドッグパーク構想）。

- ⑬ グランピング強化・着替えや暖が取れたり、雨天でも利用できるようにする。（宿舎から宿泊機能をなくしてグランピングに特化し、現宿舎はグランピングを補完するための施設とするなど）
- ⑭ 利用者を増やすためのアイデアを募集する。
- ⑮ 多目的トイレの充実（男性トイレへのベビーベッド設置）
- ⑯ 経費がかかってもスキー場のリフトの更新やメンテナンスを行う。
- ⑰ 利用者数多いキャンプ場やドッグランをさらに改善する。
- ⑱ 利用料の適正化や新規事業の実施について指定管理者との協議を行う。
- ⑲ 新たなアウトドアが体験できるようなイベントの検討を行う。
- ⑳ ネーミングライツの販売による収益を得ることを検討する。

«その他の意見»

① 利用者を増やすためのアイデア例

- ・ 物販コーナー、旧パトロール小屋（管理棟）を活用したキッズランド、屋内で遊べるスペース、入浴施設等の充実
- ・ アウトドアブランドの招致(例：南富良野町のモンベルなど)
- ・ RVパーク構想：日本RV協会の条件の駐車スペース（4m×7m程度）
- ・ 体験活動の充実：昼間は氷を使ったキャンドルを置き、夜は蝋燭を灯してまったりと過ごせるようにする。
- ・ 芽室新嵐山株式会社で愛犬用ジビエおやつ製造部門設立。

② 温泉の掘削を再度行うことはできないか（温泉スパの設置など、最新の技術でも無理？）。

③ 大人のレジャー施設としての存続は望まないが、宮ノ丘幼稚園の写真の様に子どもの教育施設としてのスキー場維持には賛成。

④ リフトなど高額な維持管理には異を唱える。安全が保障される程度の最低限の維持管理で良いのではないか。

⑤ キャンプもせず犬も飼っていないと夏の新嵐山の楽しみ方がわからないので、喫茶店でコーヒーを飲みながら本を読んだり資料を読みこんだり、できることをレストランでやってみる。

⑥ お年寄りの方の健康増進のためにも、スキー場は中心としてほしい。十勝住民のスキーの足慣らしの場としてあるのも良い。

⑦ 宿泊施設のリニューアルに関して、ハード面のみならずホスピタリティ等のソフト面の強化があってはじめて効果が出ると思う。

⑧ 噴水、温水プールの設置を検討する。

- 新嵐山の変化(リニューアル)についての前向きな情報発信を行ったり、住民と行
5. 政が定期的に話し合う場を設けるなど、新嵐山の存在の伝え方を工夫し、情報発信を強化する。

リニューアル後のスカイパークについて知らない人が多く、積極的かつ工夫をこらした情報発信を望む声が多く上がった。また、行政側からの一方的な発信だけでは町民全体の納得度の向上にはつながらないため、近隣の人を中心に町民とのコミュニケーションを密にすることが重要。さらに、口コミなど行政だけでなく町民みんなが発信者になるための仕掛けも考えていく。

「提案5」の実現に向けて、それぞれが行うこと

私たち 町民

- ① SNS 等で PR する。
- ② 町外の人（家族、親戚、友人）を連れて新嵐山を利用する。
- ③ ドッグランの良さを発信する。
- ④ 近所の人との雑談の中で新嵐山の話をする。
- ⑤ 町内の公衆浴場がなくなってしまうよう、新嵐山の風呂の利用を呼び掛ける。

地域

- ① 新嵐山のパンフレットの町内各所への設置の手伝いをする(駅や工場見学をしている企業など)。
- ② 地域として新嵐山スカイパークとどのように関わりを作り芽室町を盛り上げていけるかを話す場を設ける。
- ③ 様々な分野の人からの情報提供を地域で取りまとめる。

行政

- ① キャンプ利用客に新嵐山や町内の観光パンフレットを渡す。
- ② 天候や景色の移り変わりなど、新嵐山から見られる景色の美しさを配信する。
- ③ SNS 用 QR コードや動画を使って PR する。
- ④ 食事がおいしいことをアピールする。
- ⑤ キャンペーンの実施（年一回は新嵐山にお金を使おうキャンペーン、新嵐山×飲食店タイアップなど）。
- ⑥ 今回のように偏らない老若男女のメンバーをランダムに集めた場を今後もつくり、新しいことを更新し続けられる新嵐山にしていく（もっと魅力ある新嵐山にしていきたいと思っている町民は多い）。

- ⑦ ドッグランやグランピングなど、特徴ある機能の差別化した発信（他とは少し違うことをアピールする）。
- ⑧ ハッシュタグなどで、「あなたの好きな新嵐山の一枚」を投稿してもらい、抽選でプレゼントがもらえるなどの仕掛けを作る。
- ⑨ 行政が困っていることが伝わらないので、赤字になっていたとしても、四苦八苦しているところも含めてすべてさらけ出して発信する。
- ⑩ 芽室町の将来的なビジョンをもとにした新嵐山スカイパークのあり方についての町民との対話の機会を設けると共に、現場事業者を含めた建設的な事業構想を作る場を設ける。
- ⑪ 帯広市内を走る送迎バスに新嵐山をPR できるようなラッピングを施す。

«その他の意見»

- ① 流行を追えば良いのではなく、普遍性のものかどうか視点に置いた（持続可能かどうか）発信を考える。
- ② 昭和のビジネスモデルではなく、令和としてのあり方を考えなければならない。
- ③ 単発のイベント告知・広告には力を入れてもいいが、行政がそこまでPR に時間を掛けなくても良いのではないか（PR は民間に任せる。口コミで広まる）。
- ④ SNS、すまいる、新聞のチラシ、広告などに特集を組んで知ってもらう。行政の仕掛けがなかなか町民に伝わらず行政が勝手に進めているという意見が多いため、色々な世代の方がわかるようにするための工夫が必要。
- ⑤ 新嵐山の変化が激しくてついていけない人もいますので変化を町民に対して発信する。受け入れられない人に丁寧に説明する。
- ⑥ 小児病院情報を発信する。
- ⑦ 町の飲食店や新嵐山を利用するとそれぞれで使えるポイントの発行なども考える。

3. 付録 : アンケート結果

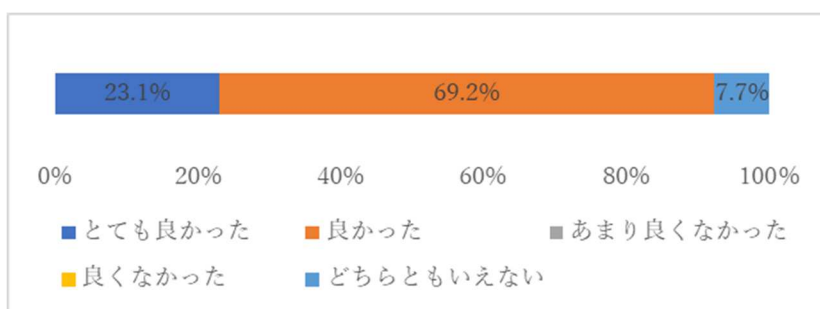
第1回新嵐山スカイパーク自分ごと化会議参加者アンケート結果

令和4年12月18日実施分

回答結果 : 14人

(1) 第1回新嵐山スカイパーク自分ごと化会議に参加してみたいかがでしたか。

回答	件数	割合
とても良かった	3	23.1%
良かった	9	69.2%
あまり良くなかった	0	0.0%
良くなかった	0	0.0%
どちらともいえない	1	7.7%
未回答	0	0.0%
合計	13	



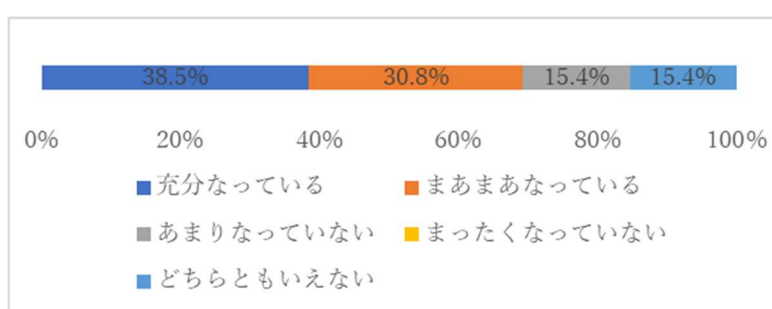
(1) の理由

- 色々なことの話に出ておもしろかった。
- 普段は新嵐山について「言いつばなし」だったが、住んで間もない人や期間の短い人、外からの人、若い人など様々な意見を聞くことができたから。
- 私は観光物産協会の観光部門を担当していますが、この会議は一町民として参加し意見できたことや協会の人間として他の参加者の意見も聞いたことも新鮮でした。
- 無作為抽出手法、会議の進め方、取り組み方についてこんな手法があるのかと参考になりました。
- 無作為の抽選だが、予想に反してみんな積極的に意見を言っており、発言しやすい雰囲気であったと思う。
- 新嵐山の現状を知ることができて良かった。
- 世代、性別、職業、生活環境等が異なる人々からの御意見を聞ける場で、多面的に新嵐山について考えることが出来たことが良かった。
- 初回で丁寧な説明があるのは理解できるが、会議時間（拘束時間）が長く感じた。出来れば短時間（1時間～1時間半以内）で、集中して話し合いたい。

- まだ概要説明の段階ですので、今回の企画が町のためになるのか、住民のためになるのかは判断できません。ただし、参加する以上は町にとってもみなさんにとっても有意義な時間になるよう、できる限りに協力はしていきたいと思っています。
- 活発な意見が全員から出せるようファシリテーターが上手に回してくれた。(最近参加した町主催の研修等の中で最も進行が上手であった。)
- 町民として、血税がかかっているスカイパークの今後を自分の事として認識できた。
- 芽室町が今抱えている課題を認識できた。
- 周辺の見学では役場の方々のこれまでのご努力と現状の問題などを現場の空気感の中で知ることができました。
- 会議では参加者が意欲的に考えを述べられ、町の活発な雰囲気に触れることができた。
- 1回目なので仕方ないが、頂いている資料の読み上げに1時間使っているので話し合いの時間が多い方が楽しかったと思う。
- いろいろな世代の方々の意見が聞けたのは良かった。
- 近隣の市町村の魅力なども参考にし、“あえて来たい”と思える場所へと展開していく必要があるのではないかと思う。
- 意識や立場などバックグラウンドの異なる人が集まったことによる意見は良かった。
- ざっくばらんに話すことができた。

(2) 新嵐山スカイパークは“自分ごと”になっていますか。

回答	件数	割合
充分なっている	5	38.5%
まあまあなっている	4	30.8%
あまりなっていない	2	15.4%
まったくなっていない	0	0.0%
どちらともいえない	2	15.4%
未回答	0	0.0%
合計	13	



(2) の理由

- 冬はスキー、春は福寿草、オオバナノエンレイソウ、秋はちょっとさみしい。
- 自分は思いが強いからだと思います。次回もその思いはぶつけたいし、町内で仕事をしっていて知り得た実態なども情報提供したい。でもいろいろな感じ方があることは理解しなければならぬと思っています。

- 小学生の時、スキー学校に通ったり友人たちとスキーを楽しんだ思い出や大人になってからは子どもがスキー学校に通い、検定の前は一緒に練習したりと私にとって新嵐山はHOMEという存在です。こうして役場が新嵐山の今後について悩んでいるという事実がそのまま自分事の悩みと同じであるという認識でいます。
- スカイパーク利用率が少ないため、「自分ごと」という枠で考えると、他参加者に比べると意識が低い自覚はある。ただ、会議では自分の意見も積極的に発言しようと思える雰囲気であるため、「どちらともいえない」という回答。
- 会議が初回という事もあり、他の参加者がどのような意見を持っているか。住んで日が浅いのでまだ把握できていないことがあるからどちらともいえないです。
- 家族でも仕事でも利用しているため。
- 今でも家庭利用では満足しているが、芽室町有数の観光地として、さらにポテンシャルを発揮してほしいと思うため。
- 現時点では、新嵐山スカイパーク活性化の必要性を見いだせていません。なぜこの場所で町興しをしなければならぬのか、次回以降の協議で見定めていきたいと思います。
- 近所の施設であり、自分との関係も深い。また、本件を通じこれだけの町民と意見を交換し、交流を持てるという意味でも意義深い。
- 過去に仕事を通じ、各地の観光や地域活性に関わる機会がありました。今回は自分自身が住んでいる地域のことであり、自分ごと化会議のような手法も含めてより関心も深く、当事者意識を持って参加したいと思っています。

(3) 次回以降に向けての要望や今日の感想など、ご自由に記入してください。

- 次回も活発な意見を聞きたい。
- 第2回は所用で欠席しますので、今新嵐山に対して思うところをお話ししますと、私にとっては新嵐山はスキー場です。スキー人口は年々減っていますが何とかスキー場レガシーとして残して欲しいというのが個人的な意見です。そして可能ならば芽室の4小学校の授業でスキー体験として新嵐山に招待（スキー、スノーボード無料貸し出し）して“新嵐山の思い出”を作ってもらって新嵐山を好きになるキッカケを作ってほしいなと思っています。前回の会議でもお話ししましたが、私が今まで新嵐山で食べて一番おいしかったのは、友達と階段で食べたカップラーメンです。
- すべての会議に参加できる見込みではないため、議事があれば共有してほしい。
- 打合せ内容について、事前に資料配布し、意見集約しておくこと会議時間の短縮や、参加できない方の意見も反映できるのではと感じる。

- 1回目の会議は議論の時間足りなく感じた。
- 指定管理者制度を取っていると思いますが、指定管理者側が今後どのような計画を立てているか知りたいです。
- ご準備等大変お疲れ様です。僕のグループでは、町民の方から手厳しいご意見（支配人が変わって地元の雇用が減った等）も出ていましたが、蓋を開けてみると事実と異なっていたり、「悪い噂話」が一人歩きしている印象がありました。
- ご年配の方で昔の新嵐山に親しんだ方ほど、今の新嵐山に対してアンチのような姿勢になってしまっているのかもしれませんが。データで事実を説明するのも大事ですが、もし「町内+町外、全世代向けの新嵐山」を目指しているのであれば、そういった方々に寄り添ったプラン（町民割、シニア割）を作っても良いのでは、と素人ながら感じました。会議の時間は、もう少し短時間だと嬉しいです。
- 新嵐山スカイパークのコンテンツごとの利用データや、収支データを共有していただけると助かります。（過去データも含め）
- 3年前？の新嵐山の改革計画を参考資料として見てみたい。
- グループワークはB班に参加しました。班ごとに議事を変えていたとは知らなかったので当初、進行内容に若干の偏りを感じてしまいうっすら疑問を持ってしまいました。
- 事前に素朴な疑問として持っていた「収支がどうなっているのだろう」といった事柄などはA班で俎上にあがったようなのでスッキリしました。仮に「本腰を入れた観光をやる」という意見が出た場合、そのメリットが投資を含めたリスクを上回るかどうかを考えるための基準を知りたいと思います。
- グループワークに参加し、多くの方が個人の思い出や体験に基づく良いイメージを有しているであろうことは予想の範疇でしたが、それはそれとして、皆さんが過去にこだわることなく今後を考えることが大事だと捉えている印象を受けました。
- 今後、少し大胆な意見が出てそれを否定する空気にならないような会議であることがいいのではと思います。
- それと同時にワンアイデア的なものと、芽室町らしさを深掘りしていく持続的な在り方と、その両方が結実する会議になればいいと思います。（それには時間が足りないかもしれませんが）
- 最終的な提案についても、多数の意見を主とした取りまとめになるのか、多様な意見は多様なまま可能性として提示するのか、アウトプットのかたちとその後の実際の立案がどのようなものになるのか気になっています。

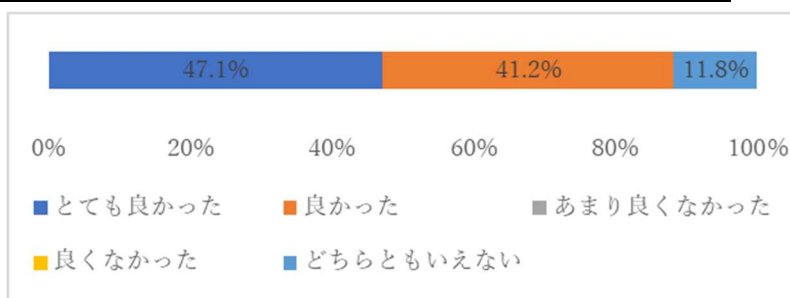
第2回新嵐山スカイパーク自分ごと化会議参加者アンケート結果

令和5年1月9日実施分

回答結果 : 17人

(1) 第2回新嵐山スカイパーク自分ごと化会議に参加してみても良かったか。

回答	件数	割合
とても良かった	8	47.1%
良かった	7	41.2%
あまり良くなかった	0	0.0%
良くなかった	0	0.0%
どちらともいえない	2	11.8%
未回答	0	0.0%
合計	17	

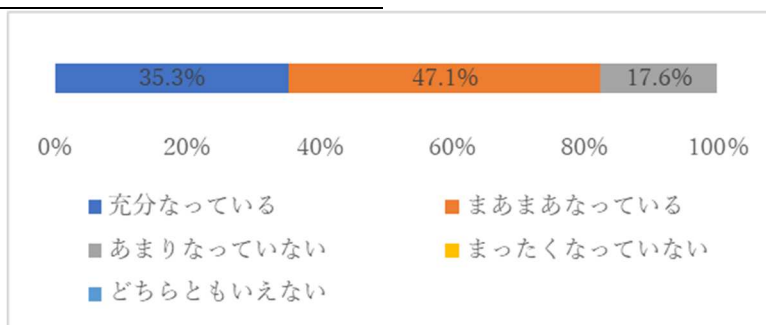


(1) の理由

- 現状の新嵐山の収支内容を参加者で共有できた上で課題や印象、思いなどの意見を出しあえた事は多様な価値観の出しあいとして良かったです。
- 今回は資金や予算の話がメインで、ビジョンやアイデアを出すなど、建設的な未来の話題が少なかったように思います。この内容ならば、委員が町民からランダムに選ばれた意味はあるのかなと思いました。(経営のわかる人しか話についていけない)
- 参加者が自分の正直な想いを、共有し合っている。
- これまで体験したことのない、話し合いの進め方に非常に興味がある。結果として(最終とりまとめ)どんな内容になっていくのか、とても楽しみ。
- このような機会はなかった。
- ある程度意見が言えた。みなさんの意見が聞けた。
- 微妙な立ち位置でどのような発言をすればよいか悩んだ。
- 町の対応が素晴らしい。期日までに資料を提供し数値を開示してくれた。(年末年始を挟んだのに大変お疲れ様でした。)
- 自分の意見以外が聞くことが出来ていろいろな観点でよかった。
- 様々な視点で意見を聞いて良かった。
- 私のような年齢層の人でも十分話に参加することが出来た。参考になればと思います。
- 尾藤さんの意見が聞けた。
- とても良かったですが、一部、発展的な話とは言いがたい発言もあり、悲しくなった。大好きな芽室町、新嵐山のことをバツサリ切り捨てられると悲しくて言葉をなくす。
- フリートークの時間をもっと取った方がもっと良い話が引き出せるように思った。

(2) 新嵐山スカイパークは“自分ごと”になっていますか。

回答	件数	割合
充分なっている	6	35.3%
まあまあなっている	8	47.1%
あまりなっていない	3	17.6%
まったくなっていない	0	0.0%
どちらともいえない	0	0.0%
未回答	0	0.0%
合計	17	



(2) の理由

- 参加者の意見の言葉からの印象として感じます。
- 会議に参加するようになって、たくさんの人と新嵐山の話をするようになりました。自分の中でも新嵐山への見方が変わってきたし、もっと知りたいと思えるようになりました。
- 自分としての新嵐山は遠い存在で、あまり自分ごととは考えにくいですが、将来自分の子どもが多く利用することになると思うので、町の活性化も兼ねて、自分なりの立場で意見できることもあると思うので、今後も参加させてください。
- 新嵐山振興のために自分ができることが少ない。
- よく利用するので。
- スキー場に対しての意見を聞けたので良かったか。
- 正直、かなり利用したくなってきている。
- 改めて思い出して、愛着がわいてきている。
- どうにか良い方向に向けられるよう知恵を絞りたい。
- 発言した事がテーマ等になっていくと少しずつ自分ごとになってる。
- 新嵐山の赤字がどう自分たちに影響しているのかを実感できない。「困る」が共有できていない。←これけっこう大事だと思います。
- もう少し足を運べるようなら良いと思います。それには送迎バスがあると行ってゆっくりのんびり食事をして、高齢者は助かるのではと思う。
- スキー場、宿泊施設利用したいと考えている。
- 今まであって当たり前前の新嵐山について、自分自身じっくり考えることができたから。

(3) 次回以降に向けての要望や今日の感想など、ご自由に記入してください。

- なんだか会議は小難しい数字の話に囚われてしまっているように感じました。実現できるかどうかはさておき、どうしたらもっと新嵐山が"私たちにとって良く"なるのか？予算や収支の内容もざっくりとは把握しつつも、具体的なアイデアやビジョンについて出た意見からどんどん膨らまして行く形が良いのでは？と私は感じました。
- できれば開始時間を早めてもらえると、酪農家にとっては参加しやすいと思います。
- 時間が少し不足。
- 公園、キャンプ場の営業利益の内、公園の維持・管理費を除いたキャンプ場としての利益はどの位なのか？
- 1回目会議の皆さんの発言が上手くリンクさせられていないように思った。いろいろな意見があるので、自分自身しっかり発言しようと思います。

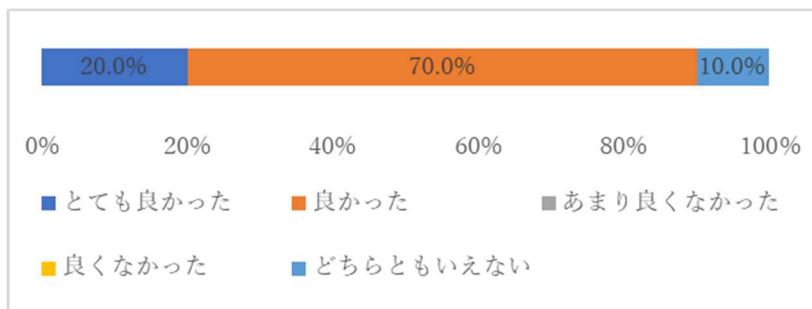
第3回新嵐山スカイパーク自分ごと化会議参加者アンケート結果

令和5年2月5日実施分

回答結果 : 10人

(1) 第3回新嵐山スカイパーク自分ごと化会議に参加してみたいかがでしたか。

回答	件数	割合
とても良かった	2	20.0%
良かった	7	70.0%
あまり良くなかった	0	0.0%
良くなかった	0	0.0%
どちらともいえない	1	10.0%
未回答	0	0.0%
合計	10	

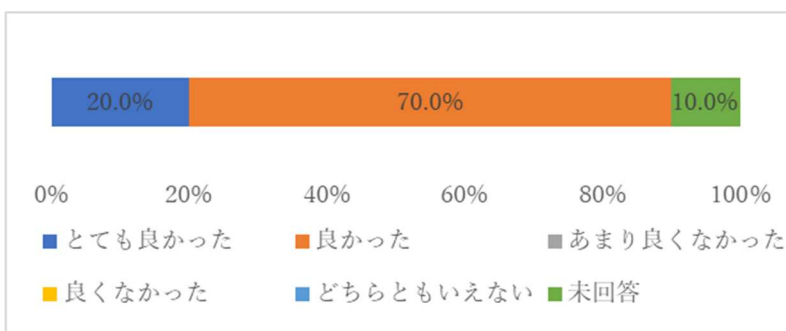


(1) の理由

- 他の地域の成功例を聞いてそうそう！！と、参考に思えることがたくさんありました。
- 言いたいことはたくさんあるが、言い尽くせなかったことがあった。
- たくさん話げできた（でも全部でない）
- 皆さん意見を持っていて感心した。
- 意見も出すことが出来て良かった。
- グループワークでのディスカッションの時間が少なかつたのが残念だった。（次回の参加ができないため…）
- まだまだゴールが見えてみません。
- 皆さんの意見が聞けるのはとても楽しいです。

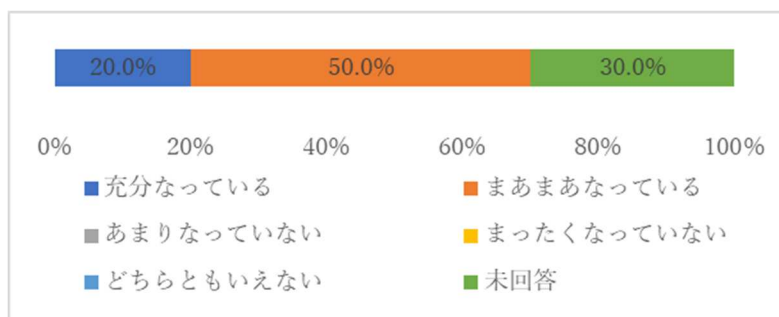
(2) 本日の自分ごと化会議の中でナビゲーターの参加についていかがでしたか。

回答	件数	割合
とても良かった	2	20.0%
良かった	7	70.0%
あまり良くなかった	0	0.0%
良くなかった	0	0.0%
どちらともいえない	0	0.0%
未回答	1	10.0%
合計	10	



(3) 新嵐山スカイパークは“自分ごと”になっていますか。

回答	件数	割合
充分なっている	2	20.0%
まあまあなっている	5	50.0%
あまりなっていない	0	0.0%
まったくなっていない	0	0.0%
どちらともいえない	0	0.0%
未回答	3	30.0%
合計	10	



(3) の理由

- 1回目と今回参加させていただけたので帰宅後家族も交えて新嵐山について考えるきっかけになっています。
- いつも頭に！
- 町内のことだし、近所の事だし子どもと思い出の場所になれば良いと思っている。
- まだ、どちらともいえない。会議でも話したようにもう少し町民参加できる新嵐山であって欲しい。

(4) 次回以降に向けての要望や今日の感想など、ご自由に記入してください。

- 次回で最後なので新嵐山の魅力をどう伝えていき変化させていくのか見届けられることが楽しみです。参加者のみなさんもそれぞれに真剣に向き合っていて最後の回で素晴らしい提案ができるのではと思います。
- 今、新嵐山の経営に関わっているスタッフも自分ごと化しよう。
- もう少し町も参加してみてもはどうでしょうか。困ってしまったり行き詰ってしまったり町民に丸投げしているように感じられました。
- 皆さんの意見を聞くのはいつも楽しいです。
- はじめは緊張しましたが、発言しやすい環境で楽しかったです。

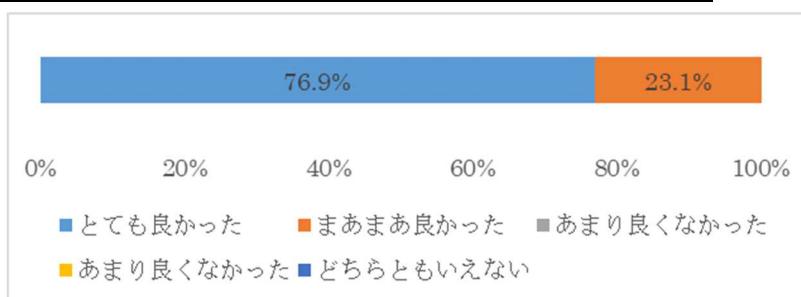
第4回新嵐山スカイパーク自分ごと化会議参加者アンケート結果

令和5年3月4日実施分

回答結果：13人

(1) 第4回新嵐山スカイパーク自分ごと化会議に参加してみていかがでしたか。

回答	件数	割合
とても良かった	10	76.9%
まあまあ良かった	3	23.1%
あまり良くなかった	0	0.0%
あまり良くなかった	0	0.0%
どちらともいえない	0	0.0%
未回答	0	0.0%
合計	13	



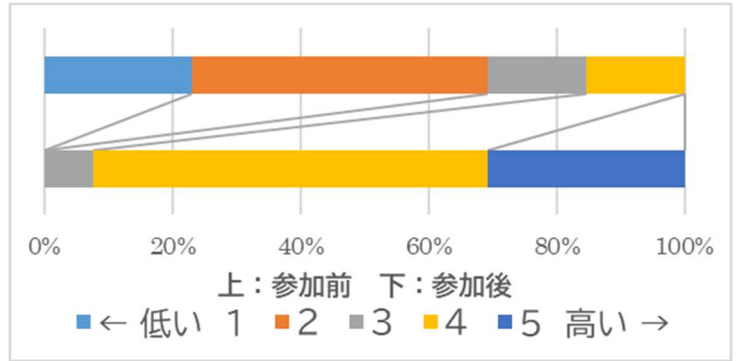
(1) の理由

- 新嵐山をはじめ、芽室町の事をよく知るととても良い機会になりました。第3回にはナビゲーターのお二人の貴重なお話を聴けてとてもためになる、貴重な経験ができた。
- 今までにない会議に思い切って参加して良かったです！他の参加者様の様々なご意見が聞けてこれから益々魅力的な新嵐山に変化していくに違いないと思えました！！
- 内容はとても良かったと思います。しかし、1回あたりの時間が長く、かつアンケートや提案シートの記載時間が少なく、少しもったいなかった。
- 色々な年代の人の意見が聞けた。コロナでコミュニケーション不足だったが解消された。
- 新嵐山の将来について考える機会を得て、これからの動向を気にしたり進んで利用したいと思いました。役場の方とお話する機会が新鮮で良かったです。
- 生まれて33年、ずっと芽室にいてこの町で行われていることが当たり前だと思い、何も考えを持っていませんでした。会社員だからかもしれませんが、そんな自分がこの町の経済に意識を持てたのは良かったです。ただ、もう少し議論したかったです。
- 多くの町民と対話し、最終回では非常に本質的な概念が出た。政治的、哲学的に大変意義のある営みだった。
- 色々な方々とお話しでき、参考になることが沢山あり、良かったと思います。

(2) 新嵐山スカイパーク自分ごと化会議に参加した前後で、あなたの税金や行政・議会への関心や地域づくりに関わる頻度などに変化はありましたか。

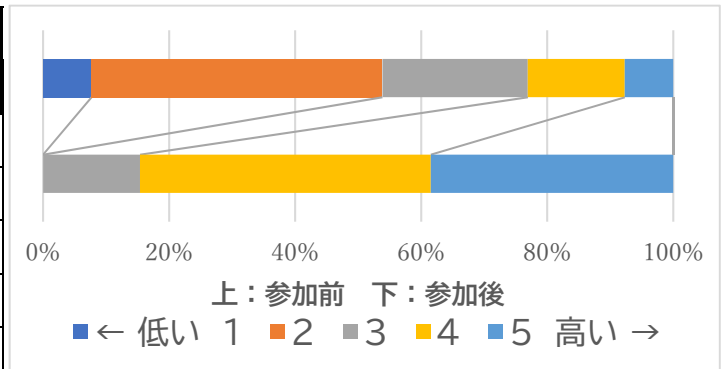
税金の使い方への関心

回答	参加前		参加後	
	件数	割合	件数	割合
1 低い	3	23.1%	0	0.0%
2	6	46.2%	0	0.0%
3	2	15.4%	1	7.7%
4	2	15.4%	8	61.5%
5 高い	0	0.0%	4	30.8%
合計	13		13	



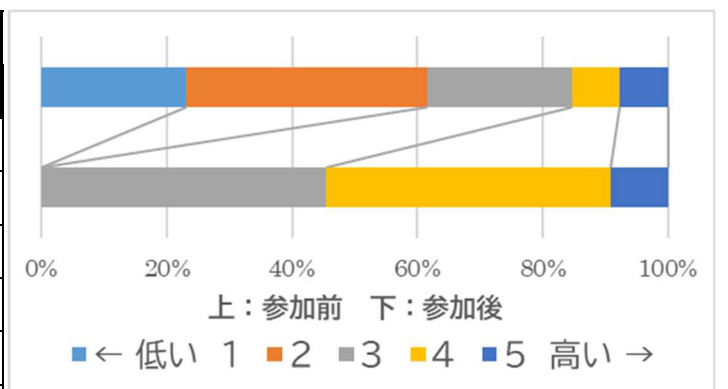
② 行政や議会の情報への関心度（広報紙・HPや議会の傍聴等）

回答	参加前		参加後	
	件数	割合	件数	割合
1 低い	1	7.7%	0	0.0%
2	6	46.2%	0	0.0%
3	3	23.1%	2	15.4%
4	2	15.4%	6	46.2%
5 高い	1	7.7%	5	38.5%
合計	13		13	

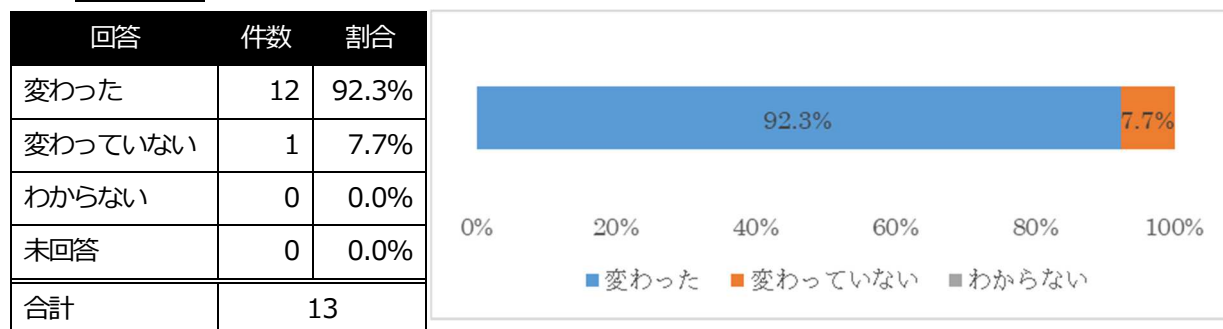


③ 自治会、ボランティア等地域づくりに関わる集まりに参加する頻度

回答	参加前		参加後	
	件数	割合	件数	割合
1 低い	3	23.1%	0	0.0%
2	5	38.5%	0	0.0%
3	3	23.1%	5	38.5%
4	1	7.7%	5	38.5%
5 高い	1	7.7%	1	7.7%
未回答	0	0.0%	2	15.4%
合計	13		13	



(3) 新嵐山スカイパーク自分ごと化会議に参加したことで、意識に変化はありましたか。

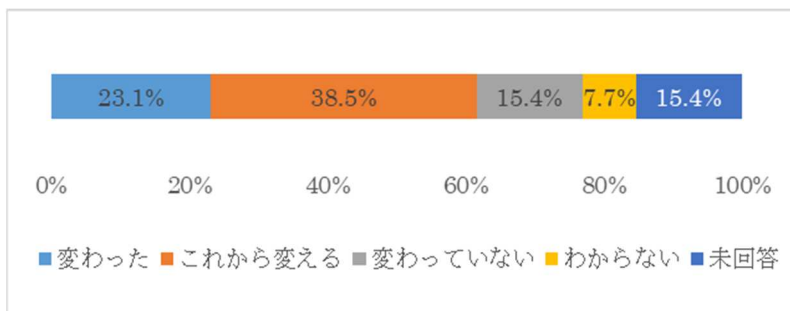


▼具体的に変わった点

- 地域で自分ができるところをやろうと思えるようになりました。また、自分が住んでいる地域のことも、より気にかけるようになりました。不法投棄のゴミを通報したり、地域の人に新嵐山に関して意見を聞いたり、海外のドッグパーク利用規約に関して調べてみたりと。
- 新嵐山が抱えている問題に理解出来、町でもなかなか踏み切れない理由もわかりこうやって意見交換しながら今日までの嵐山が作り上げられてきたのだと思うともっともっと新嵐山を元気ある場所にしてアピールしたくなりました
- 新嵐山の利用者の声が実際に確認出来て良かった。料金が高すぎると勝手に思っていました。満足度が高いんだと知れたのが大きかった。
- 施設が新しくなったことがわかった。行政の取り組みの様子が分かった。
- 何とかしたいと思った。
- 新嵐山を見つめ直すきっかけになった。
- 税金が使われているということの意識を持つようになった。
- 多くの町民が自分の想像以上に町政に関心を持つ「良き市民」だと気づかされ、自分の不見識と傲慢を恥じた。
- より関心を持てるようになった。
- グループワークで大変真剣に皆さんが意見を述べられ、考えを深めていく様子が素晴らしい。

(4) 新嵐山スカイパーク自分ごと化会議に参加したことで、行動に変化はありましたか。

回答	件数	割合
変わった	3	23.1%
これから変える	5	38.5%
変わっていない	2	15.4%
わからない	1	7.7%
未回答	2	15.4%
合計	13	

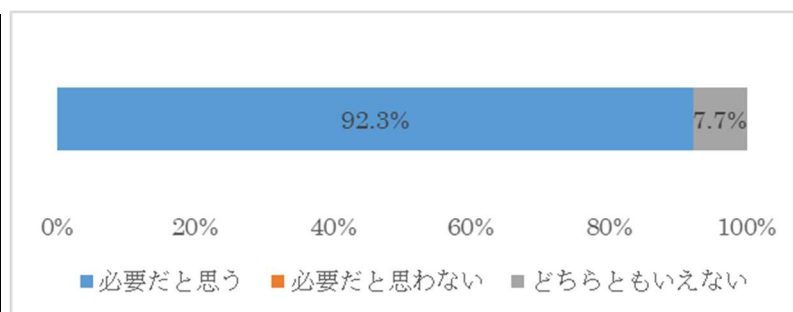


▼具体的に変わった点（変える点）

- 最近、スキーやキャンプでの利用から遠ざかっていたので、一度利用して色々と感じてみなくてはいけないなと思いました。
- 出来るだけ多く利用する。
- ボランティア活動をしてみたい。
- 税金の使われ方が気になりそうです。
- 日常的に新嵐山の活性化に意識が向くようになった。
- 新嵐山に行ってみようと思った。
- これから少しでも足を運びます。
- TV・新聞などの関連記事をよく読み、機会があればほかの類似施設を見学するなどし見識を深めている。

(5) 今回の会議のように、無作為抽出の手法を使って議論していくやり方についてどう思いますか。

回答	件数	割合
必要だと思う	12	92.3%
必要だと思わない	0	0.0%
どちらともいえない	1	7.7%
未回答	0	0.0%
合計	13	

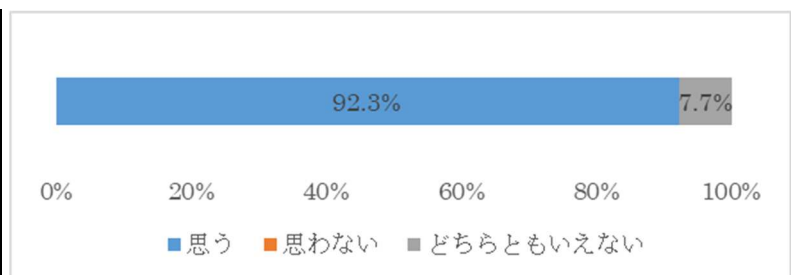


(5) の理由

- 新しい手法であることに加え、今回、会議に出席した経験から、公平性を感じたため。
- 無作為がとても良いです！今回もとても難しい発言をされる方もいれば私のような素人でも意見を聞いてくださることがとても嬉しかったです。このような経験を他の方にも是非していただきたいです。
- 様々な視点からの声を集めることが出来るのでとても良いと感じました。今までの様々な会議では体験できない新鮮な感覚がとても大事だなと思いました。
- 様々な意見が聞ける。
- 良い方法だと思う。
- 様々な層の町民が出れるのは良いと思います。
- 嵐山に限らずあると良いと思います。

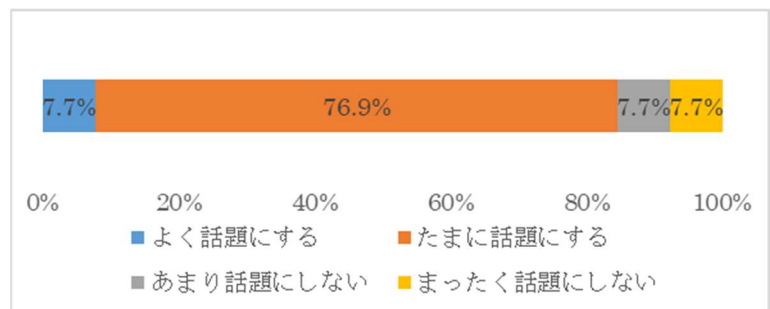
(6) 今後、新嵐山スカイパーク自分ごと化会議のように、住民同士で町の重要課題について議論・意見交換し、町へ改善提案できる場があれば参加したいと思いますか。

回答	件数	割合
思う	12	92.3%
思わない	0	0.0%
どちらともいえない	1	7.7%
未回答	0	0.0%
合計	13	



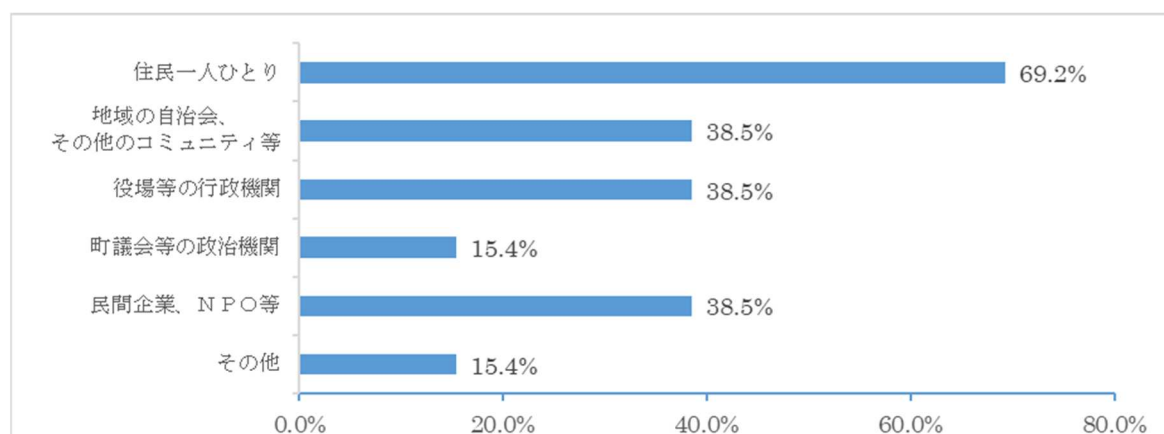
(7) 普段、地区で行っている活動や地域づくりについて、家族や友人など身近な人と話題にしますか。

回答	件数	割合
よく話題にする	1	7.7%
たまに話題にする	10	76.9%
あまり話題にしない	1	7.7%
まったく話題にしない	1	7.7%
未回答	0	0.0%
合計	13	



(8) 芽室町をより良くするために特に重要と思う主体を選択してください。(複数選択可)

回答	件数	割合
住民一人ひとり	9	69.2%
地域の自治会、 その他のコミュニティ等	5	38.5%
役場等の行政機関	5	38.5%
町議会等の政治機関	2	15.4%
民間企業、NPO等	5	38.5%
その他	2	15.4%

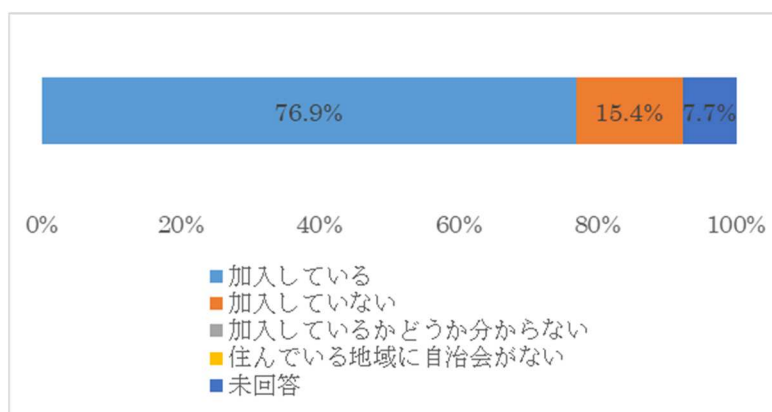


▼「その他」の内容

- 学校などの教育機関。教員のみならず地域の大人が子どもの声を聞くコミュニティ、スキーム。
- 町民参加型の会議をより多く持ってほしい。

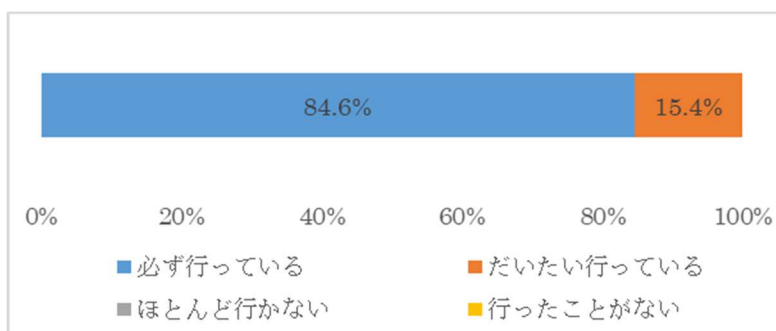
(9) 自治会には加入していますか。

回答	件数	割合
加入している	10	76.9%
加入していない	2	15.4%
加入しているかどうか 分からない	0	0.0%
住んでいる地域に 自治会がない	0	0.0%
未回答	1	7.7%
合計	13	



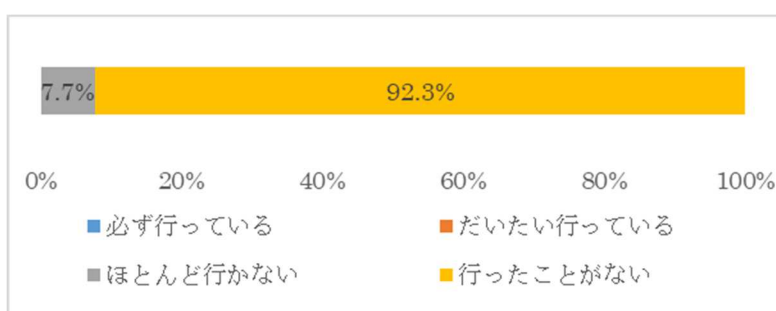
(10) 選挙の投票に行っていますか。

回答	件数	割合
必ず行っている	11	84.6%
だいたい行っている	2	15.4%
ほとんど行かない	0	0.0%
行ったことがない	0	0.0%
未回答	0	0.0%
合計	13	



(11) 議会の傍聴に行ったことがありますか。

回答	件数	割合
必ず行っている	0	0.0%
だいたい行っている	0	0.0%
ほとんど行かない	1	7.7%
行ったことがない	12	92.3%
未回答	0	0.0%
合計	13	



(12) その他、全体を通じた感想やコメントを自由にご記入ください。

- 自分とは異なる意見の方、異なる角度のものの見方、など視野を広げるとても良い機会となりました。私は芽室町出身ではなく、移住して来たためどこか地元という気持ちを持たずにいたけれど、こうして積極的に地域と関わることから、愛着というものは湧いてくるのだな、と感じました。これからは自分の住む芽室町の魅力をとことん掘り下げて楽しんで愛して行きたいと思います。全体を通して楽しい会議でした。貴重な機会をありがとうございました！
- みなさん、新嵐山が好きなんだなーって思いました。こんなに、色々な意見が聞けて様々な立場の方のお話が聞けてとても刺激を受けました。これからの新嵐山がどう素敵に変化していくか楽しみにしております。
- こういう会はコーディネーターの力量次第だと思う。すごく優秀な方だと思った。進行やまとめ方や汲み取り方など。役所の人への印象が変わった。見習いたいと思いました。自分の職場でもこんなに議論することはないので、非常に良い社会勉強になりました。町民のレベルも上がるのではないかと思います。これは、自治体にとって重要なことだと思います。
- 一町民として（十勝生まれの人としても）、新嵐山はなくならないでほしいです。これまでの芽室の歴史やかかわった人の思い、将来の子どものために残してほしいです。
（スキー場や展望台、子どもやお年寄りの健康増進の体験 etc…） そのために税金を使うのは構わないです。観光として第3セクター（民間）がグランピングやキャンプ、ワーケーションとして、商売するのはいいですが、無理ない範囲でしたり（税金を考慮して）してほしいです。あと、会議3時間近くはちょっと重たいです。時間がとりづらかったです。
- きっとよい町にしていけます。町のために働いている皆さんに感謝です。住民としてこれからも協力していきます。
- 参加町民の方々、ご担当者のみなさまお疲れさまでした！！